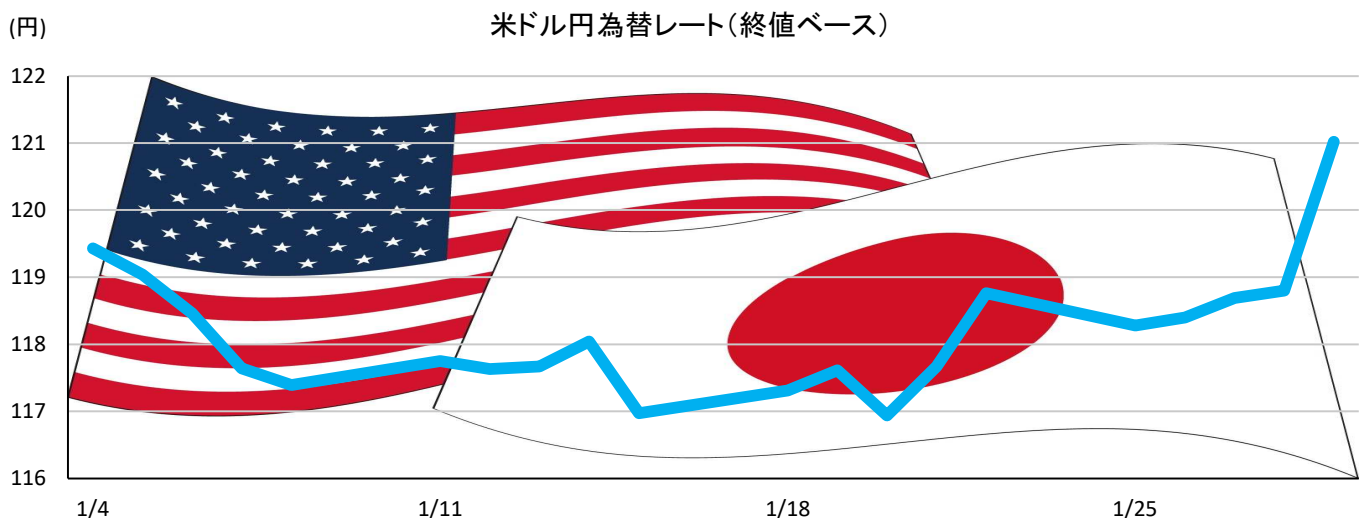


MARKET REVIEW

先月の振り返り：2016年1月のドル円相場は、116円後半～121円前半のレンジで推移した。年初から中国や原油の影響を受け、日経平均株価が大幅に下落。それに伴い、ドル円は円高に振れ、一時、115円台まで下落。その後、日銀の追加緩和期待からドル円も119円付近まで反発したところで、29日の日銀金融政策決定会合を迎えた。追加緩和の有無を巡って、市場ではその見方が拮抗していたが、日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定。発表直後、ドル円は121円半ばまで一気に急騰し、その値幅は約3円にもなった。



EXTRA VISION

今後の展開：先月29日、日銀は衝撃のマイナス金利導入を決定した。日銀が決定したのは、金融機関が日銀に保有する当座預金残高を、従来通りの付利0.1%を適用する基礎残高、付利なしのマクロ加算残高、マイナス0.1%を適用する政策金利残高の3層に分けるもの。ECBがマイナス金利を開始した2014年半ば以降、ユーロ安が進行しているのを見ると、日銀によるマイナス金利の適用開始により、同じような一定の円安圧力が加わる可能性も考えられる。ただし、昨年半ば以降、原油価格の下落に伴い予想物価上昇率も著しく低下。これが、円の実質金利上昇による円高の動きをもたらしたとも見られており、マイナス金利による一定の円安圧力が加わったとしても、ドル円が再び円安方向への強い上昇トレンドを描くのは、それほど容易なことではないのかもしれない。

今月の主な経済指標

日付	時間	国	指標名	重要度
2/3 (水)	22:15	US	ADP雇用統計 前月比	☆☆
2/5 (金)	22:30	US	雇用統計	☆☆☆
2/12 (金)	22:30	US	小売売上高 前月比	☆☆
2/19 (金)	22:30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆
2/25 (木)	0:00	US	新築住宅販売件数 前月比	☆☆
2/26 (金)	8:30	JP	消費者物価指数 (CPI)	☆☆
2/29 (月)	19:00	EU	消費者物価指数 (HICP)	☆☆